

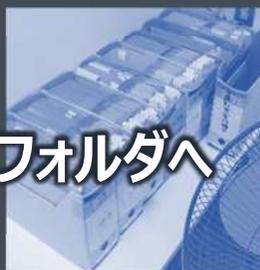
# kintoneを活用したDXの事例

## 保健所における新型コロナウイルス陽性者の発生届処理等

導入前

陽性者の調査内容等を

手書きし、個別フォルダへ



どこ?!



非効率で多くの応援職員が必要

導入後

陽性者の調査内容等を

システムで一元管理



職員がローコードツールでシステム構築



業務量が削減、応援職員が最小限に

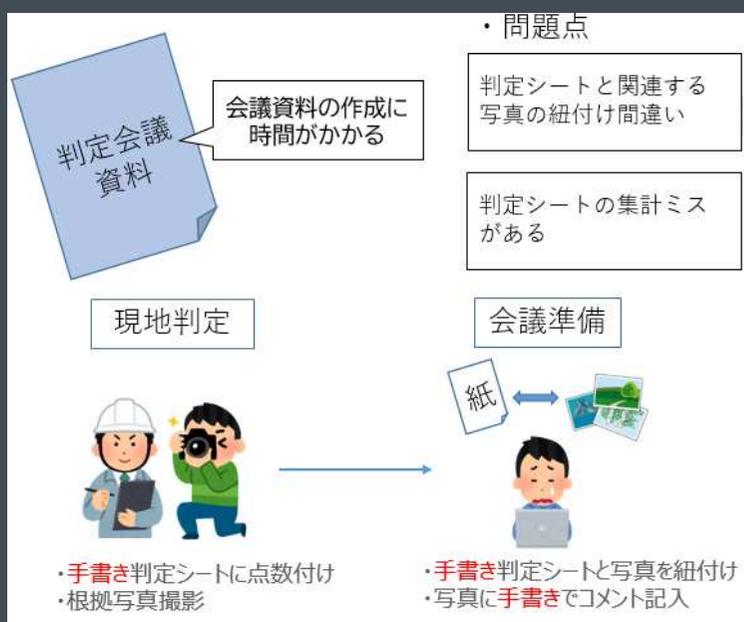
応援職員を85名削減（約100名→約15名）

フォルダ・用紙・印刷代を約1,000万円削減

# kintoneを活用したDXの事例

## 老朽空き家等除却補助現地判定

### 導入前



### 導入後

◆判定結果◆ 危険度 75 不良度 110 補助率 特別

■空き家所在地

行政区 町名  
小倉北区 下町津二丁目

外区符号 住居番号 ※半角英数字  
3番 29号

②外壁等が脱落、飛散等する恐れがあるか 0点 25点

③判断の方向

既) 下地の露出しているもの 中) 新しく下地の露出しているもの、または穴を空けているもの 高) 新しい損傷が認められるもの

下地材が露出し穴が空いている

写真の写込み

直接写真へコメント等記入

会議資料としてそのまま活用

モバイル端末から直接写真・判定項目を登録

The screenshot shows the kintone application interface. At the top, it displays '判定結果' (Judgment Results) with fields for '危険度' (Danger Level: 75), '不良度' (Defect Level: 110), and '補助率' (Subsidy Rate: 特別). Below this is the '空き家所在地' (Vacant Home Location) section with dropdown menus for '行政区' (Municipality: 小倉北区) and '町名' (Town Name: 下町津二丁目). There are also input fields for '外区符号' (Outer Area Code: 3番) and '住居番号' (Residence Number: 29号). A checkbox section asks '②外壁等が脱落、飛散等する恐れがあるか' (Is there a risk of falling or scattering of exterior walls, etc.) with a score of 0 points out of 25. A section for '③判断の方向' (Direction of Judgment) lists three categories: '既) 下地の露出しているもの' (Already exposed), '中) 新しく下地の露出しているもの、または穴を空けているもの' (Newly exposed or holes made), and '高) 新しい損傷が認められるもの' (New damage recognized). Below this is a photo upload section with a '写真の写込み' (Photo Upload) button. A photo of a building is shown with a red circle and the text '直接写真へコメント等記入' (Enter comments etc. directly on the photo). A callout box says 'モバイル端末から直接写真・判定項目を登録' (Register photos and judgment items directly from the mobile terminal). Another callout box says '会議資料としてそのまま活用' (Use as meeting materials as is).

システム内製により、年間作業時間を157時間削減

# kintoneを活用したDXの事例

## 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業

### 導入前

市民が「確認書」に必要な項目を記入して郵送



記載内容を確認し、不備があれば再度、「確認書」を市民に郵送、返信依頼

開封や読取に膨大な人員と時間が必要  
再送手続きが発生・紙の保管場所も必要

### 導入後

市民がスマートフォンなどからオンライン申請



入力フォーム上で

自動チェック、不備ない申請のみ受付  
申請が即時反映され、CSVが自動生成



不備のない申請のみを自動でデータベース化  
CSVで出力し、RPAが自動で振込システムに登録



2か月で1.2万件の電子申請／1,069時間の業務量削減